

第59回 青雲塾 開催報告

青雲塾担当 松井繁幸 (第23期)

<http://www.seiunkai.net/kouryu/seiunjuku/list.html>

- 1.日時 3月17日(土) 午前9時30分～午後0時30分
- 2.場所 大阪大学中之島センター 607 (20席)
- 3.会費 2,500円
(・レクチャー 1,000円 資料代その他経費を含む。大阪大学学生は無料。
・茶話会 1,500円)
- 4.講師 福井 康太 先生 (大阪大学大学院 法学研究科 教授)
- 5.演題 「日本はいつから総無責任体制になったのか：戦時体制と東大話法」



6.講師のプロフィール

福岡市出身。1967年生まれ。九州大学法学部、同大学院法学研究科修士課程、同博士課程修了。博士(法学)。山形大学人文学部専任講師、同助教授、大阪大学大学院法学研究科助教授、同准教授を経て、2011年から現職。専門は法社会学。

7.講師から一言

法社会学の視点で「企業コンプライアンス」研究を進めていると、組織の無責任体質の問題に直面することがしばしばあります。この「病」は日本社会に広く蔓延しており、大きな組織、歴史ある組織ほど無責任体質の「病」が深いという印象を持ちます。今回の講演では、この無責任体質の歴史を日本の戦時中の国家総動員体制にまでさかのぼって検証し、無責任体質の今日的な象徴的表現形態である「東大話法」(安富歩・東京大学東洋文化研究所教授の命名)の特徴を明らかにします。関心のある方の参加を期待しています。

8.参加者から

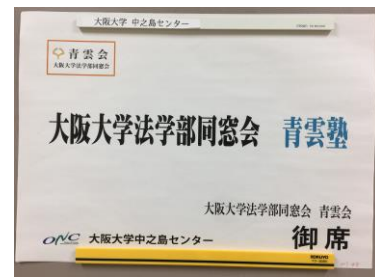
加堂裕規さん(23期)のface bookより

「福井康太教授の『日本はいつから総無責任体制になったのか～戦時体制と東大話法～』は、内容的確で、福島原発事故と原発政策、相撲協会の不祥事、森友問題...というタイムリーな話題課題に直接つながる、素晴らしい講話となりました。」

9.青雲塾担当から

NHKスペシャル「戦慄の記録 インパール」を見ました。今から73年前、日本軍は、インド・ミャンマーの国境地帯を超え、インドにあった英軍の拠点「インパール」の攻略を目指した。しかし、無謀な作戦のため、3万以上が命を落とした。しかも作戦の決定に関わった幹部が誰一人として、責任を取っていない。現代と変わらぬ構図です。私の父は、インパールの戦場に行くところを、直前、病気で入院して命拾いました。敗戦に至るまでの経緯や福島原発の顛末など、「無責任」をキーワードに読み解ける事例が多くあります。今回は『原発危機と「東大話法」』の福井先生のコメントに共感してお願いしました。

(写真)



①中之島センター案内板



②③福井先生から冒頭のご挨拶に続いてレクチャーへ



④⑤茶話会風景 終了後も先生を囲んで話し込む姿が見られた

東大話法規則一覽

- 規則 1** 自分の信念ではなく、自分の立場に合わせた思考を採用する。
- 規則 2** 自分の立場の都合のよいように相手の話を解釈する。
- 規則 3** 都合の悪いことは無視し、都合のよいことだけ返事をする。
- 規則 4** 都合のよいことがない場合には、関係のない話をしてお茶を濁す。
- 規則 5** どんなにいい加減でつじつまの合わないことでも自信満々で話す。
- 規則 6** 自分の問題を隠すために、同種の問題を持つ人を、力いっぱい批判する。
- 規則 7** その場で自分が立派な人だと思われたいことを言う。
- 規則 8** 自分を傍観者と見なし、発言者を分類してレッテル貼りし、実体化して属性を勝手に設定し、解説する。
- 規則 9** 「誤解を恐れずに言えば」と言っていて、嘘をつく。
- 規則 10** スケープゴートを侮蔑することで、読者・聞き手を恫喝し、迎合的な態度を取らせる。
- 規則 11** 相手の知識が自分より低いと見たら、なりふり構わず、自信満々で難しそうな概念を持ち出す。
- 規則 12** 自分の議論を「公平」だと無根拠に断言する。
- 規則 13** 自分の立場に沿って、都合のよい話を集める。
- 規則 14** 羊頭狗肉。
- 規則 15** わけのわからない見せかけの自己批判によって、誠実さを演出する。
- 規則 16** わけのわからない理屈を使って相手をケムに巻き、自分の主張を正当化する。
- 規則 17** ああでもない、こうでもない、と自分がいろいろ知っていることを並べて、賢いところを見せる。
- 規則 18** ああでもない、こうでもない、と引っ張っておいて、自分の言いたいところに突然落とす。
- 規則 19** 全体のバランスを常に考えて発言せよ。
- 規則 20** 「もし○○○○であるとしたら、お詫びします」と言っていて、謝罪したフリで切り抜ける。